

地元の特産品『香良洲梨』に親しむ 香良洲小学校児童が梨の「袋掛け」を体験

6月22日、JAみえなか（組合長：前田孝幸）管内にある津市立香良洲小学校の3年生26人が、同JA香良洲梨部会（舞野賢司会長）が提供する体験農園で特産「香良洲梨」の袋掛け体験をします。

この体験は、香良洲梨の産地維持・拡大を目指している『香良洲梨かがやきプロジェクト』の一環で、当日は児童たちがあらかじめ梨の絵や梨農家などへのメッセージを書いた袋を梨に被せていきます。袋掛けをすることで、病害虫や雨風などから果実を保護し、梨の肌の仕上がりをきれいにする効果が得られます。

同校では3年生を対象に、授粉や摘果、袋掛け、収穫などの体験を通して、年間を通じて特産品の理解を深めています。

香良洲梨かがやきプロジェクト

- ・同プロジェクトは、農家の高齢化とともに産地の維持が難しくなってきたことから、香良洲の梨を守ろう！！と有志らで2005年に発足。
- ・100年以上の歴史を持つ「香良洲梨」は周囲を川と海に囲まれた土地で栽培されているため、甘みが強いのが特徴。
- ・現在は香良洲梨農家7人で活動中。産地の活性化や生産者との交流を目的に2006年から同校で体験学習を取り入れています。



報道対応日

日時：令和3年6月22日(火) 9時30分（1時間程度）

集合場所：体験農園（津市香良洲町馬場区）

※当日は、香良洲小学校の児童の袋掛け風景の様子をご紹介します。

※雨天の場合は延期となります。

※取材前にご一報ください。

【取材時のお願い】

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、感染症対策へのご理解ご協力の程よろしく申し上げます。

【お問い合わせ】※写真提供も致しますのでご相談ください。

JAみえなか 企画部 企画広報課（広報担当：葛井）

TEL：0598-28-8822（事務所）、FAX：0598-28-8034

Webサイト：<https://www.ja-mienaka.or.jp/>

E-mail：kikaku3@mienaka.jamie.or.jp